

助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成金
助成対象事業名	音声リライト支援ツールの研究開発(身体障害者等支援研究開発)
助成対象事業者名	株式会社ユビテック

[研究開発課題の全般について]

① 助成対象事業の概要	視覚障害者でも簡単に、会議録や講演録から文字原稿を作成する仕事(リライト業務)を行えるよう支援するシステム「リライトサポータ」の研究開発を行う。
② 助成対象事業の目標	平成19年度システムの実証実験結果より明らかになった課題を踏まえ、スタンドアロンで稼動し、動画も再生できる新しいリライトサポータを研究開発する。

[平成20年度実施部分について]

③ 平成20年度助成金	2,142 千円
④ 研究開発の実施内容	<p>リライトサポータの「スタンドアロンでの動作サポート」、「チャプデックス機能の改良」および「動画ファイルのサポート」を実現し、より障害者のリライト業務を効率化する。具体的には、以下の機能を研究開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル読み込み機能 ・ファイル保存機能 ・音声・動画ファイル再生機能 ・チャプデックス機能 ・動画・テキスト同期再生機能 ・映像検索機能 ・インストーラ

[平成20年度実施部分における研究開発課題の成果や評価結果について]

⑤ 研究開発の成果	<p>計画変更により基本機能を備えた実験モデルに規模を変更したこともあり、前述の7機能に関しては問題なく動作したが、他に晴眼者からは「画像や文字の大きさを変更したい」、視覚障害者からは「動作完了後に音声で完了したことをアナウンスしてほしい」といった機能追加要素が挙げられている。晴眼者、視覚障害者とも、「チャプデックス機能」に対して高い評価を頂いており、今後ユーザーニーズやコストなどを考慮しつつ、機能追加や方向性の検討を進めたい。</p>
⑥ 研究成果の応用状況、利用状況	開発成果の製品化に向けた活用